

大学3年生の時に  
針金造形作家を志

幼少時からモノづくりや  
絵を描くことが好きだった  
橋寛憲さん。何の変哲もな  
い針金という金属材で、初  
めて立体物を表現したのは  
高校3年生の時でした。

当時通っていた予備校の授業の合間に、図書ルームで拾つた針金を使つて自転車や音符をつくつてみると、周囲から予想以上に好評だったそう。以降、芸術大学に進学してからも、「暇さえあれば、針金で何かをつくっていた」といいます。大学ではデザイン科に在籍していましたが、3年生の時に針金造形作家を志すことを決意。大学のあらゆる課題を針金造形物で提出しま



針金造形作家 橋 寛憲

卷頭特集

針金造形作家 橋 寛憲



profile

1974年、三重県生まれ。1997年に愛知県立芸術大学デザイン科を卒業。針金造形作家としてのキャリアをスタートさせる。初の個展は1999年、「ギャラリー泉(現在は一時閉廊中)」。現在は愛知県を拠点に都内各所でも個展を開催中。栢山女学園大学生活環境デザイン学科非常勤講師

えてくると、体や手足の大  
きさも決定します。すると  
結果的に均整のとれた大き  
さになりますね」と橋さん  
はいいます。

小さなものだと、約30分  
で完成。サイズが手の平ほ  
どのものだつたり、高座や  
小道具が付いたりすると、  
5～6時間要するそうです  
「極端に大きくなければ、1  
日1作品はつくれてしまふ  
んです。ですから、慣れれ  
ば気軽に楽しめるアートと  
して、皆さんにもつくるこ  
とができます」。

現在橋さんは、自身のス  
クールや外部のカルチャー  
教室などで針金造形を指導  
中。皆さんも新しい趣味と  
して挑戦してみてはいかが  
でしょうか。

現したものから、擬人化され、チャーミングなポーズをとつたものまで多彩です。すべての作品は、設計図などがなく、写真を資料にするだけ。あとは頭の中で完成図を描き、それに沿って手を動かします。「例えば人物を描く時、多くの人は顔から描きます。それと同じで、私も目からつくりはじめるのです。目をつくると生き物の頭の大きさが自ずと決まり、頭の大きさが見

[ information ]

針金造形ワンデー教室  
日時:6月30日  
会場:ヴォーグ学園名古屋校

個展「ワイヤアリウム」  
日時：7月23～27日

会場:ノリタケの森ギャラリー第二展示室  
個展「タイトル未定」  
日時:8月19~31日

